

基本計画第1次案（大学，国際化，行政経営の大綱）に対する市政に関係する団体からの意見

■ 大学

実施計画作成や事業展開の検討に当たって今後参考とする意見

- 各大学においては，学生にとってより魅力のある学びの環境を整え，教育研究水準の向上を図るため，キャンパスの整備拡充に取り組んでいる。質の高いキャンパス整備を円滑に進める上では，景観への配慮とともに，地域のまちづくりとの整合性が重要だが，大学の立地支援の意味で，特別な規制上の配慮が必要でないかと考える。こうした課題をクリアするため，京都市と大学とが協働して，新たな大学施設整備支援の仕組みづくりが行われるよう期待している。）
- 京都は，学生は多いが，京都で就職したいという学生が非常に少ない。大学からは，「中堅・中小企業さんが，どれだけ募集しているのかが分からない。」というような話をお聞きする。このような情報発信がないという問題に対して，我々も経済4団体の会議等で議論しているところである。

■ 国際化

実施計画作成や事業展開の検討に当たって今後参考とする意見

- 国際交流会館登録ボランティアの数を400人→800人と倍増するとあるが，体制の充実や仕組みの見直しなど円滑な運営のための協力支援が求められる。

その他

- 国際化をはじめ全体的に良くできていると思う。京都らしさがよく出ていて良い。
国際化のページに取組の写真が掲載されていないのが残念。「京都市多文化施策懇話会」（旧京都市外国籍市民施策懇話会）の会議風景などの写真を掲載し，熱心に取り組んでいる様子を伝えるべきである。
- 国際化と海外からの観光客は同じカテゴリーに入るのだろうか。このプランの中では，観光客は全体の中の一部にしか過ぎないと思う。
- 「日本国籍を取得した外国にルーツを持つ市民」と記載された部分があるが，わざわざ「日本国籍を取得した」はいるだろうか。中国帰国者等が読まれたら自分達が含まれていないのではと勘違いされると思う。
- 全体的に簡素に仕上がっているのに，「現状・課題」にてホームステイだけがなぜ例示にあげられているのだろうか。

■ 行政経営の大綱

長期的な観点から検討が必要な意見等

- 市税は独自の増収策を考えるべき。管理放置物件があるが、他都市の人は、固定資産税，都市計画税を引き上げることによって，市税収入を増やしたり，それをきっかけに京都市に移ってもらうようなことも検討すべきではないか。